

5. 母性看護学実習

母性看護学実習

1) 実習目的

マタニティサイクル各期における看護を必要とする人々とその家族を理解し、健康を維持増進していくために適切な看護が実践できる基礎的能力を養う。

2) 実習目標

- (1) マタニティサイクルにある母子とその家族の特性を理解し健康状態をアセスメントすることができる
- (2) マタニティサイクルにある母子とその家族に必要な看護援助を考えることができる
- (3) マタニティサイクルの母子とその家族に必要な看護援助が理解でき一部実施できる
- (4) マタニティサイクルにある母子を取り巻く保健・医療・福祉チームにおける看護の役割・責任について理解できる
- (5) 生命の尊厳、母性や父性、親役割、家族役割について自己の考えを深めることができる

3) 実習単位と時期

実習科目名	単位数	時間数（日数）	内訳	実習時期	備考
母性看護学 実習	2 単位	90 時間(12 日)	学内実習 18 時間（9 コマ） 事前 9 コマ（90 分× 9）18 時間 ※ 3 コマ 3 日間 臨地実習 9 日間（8 時間 / 日）72 時間 （45 分 = 1 時間とする）	3 年次全期 ～ 4 年次前期	病棟・ 外来

4) 到達目標

実習目標	到達目標
1. マタニティサイクルにある母子とその家族の特性を理解し健康状態をアセスメントすることができる	①対象の妊娠・分娩経過と健康状態を述べることができる ②妊娠・分娩が褥婦に及ぼす影響について述べることができる ③褥婦の正常な生理的变化を述べることができる ④褥婦の心理的变化の特徴を述べることができる ⑤新生児の正常な生理的变化を述べることができる ⑥褥婦の経過をウェルネスの視点でアセスメントすることができる ⑦新生児の経過をウェルネスでアセスメントすることができる
2. マタニティサイクルにある母子とその家族に必要な看護援助を考えることができる	①母子の援助に必要な情報を収集・整理・分類することができる ②母子に必要な看護援助を理解することができる ③母子の経過やその家族の生活に応じた保健指導の意義・方法が分かる
3. マタニティサイクルの母子とその家族に必要な看護援助が理解でき一部実施できる	①母子の経過を一体として捉えることができる ②母子の生理的な経過を理解し、基本的な援助が実施できる ③新生児の安全に配慮して関わるることができる ④褥婦とその家族の心理状況やプライバシーの配慮ができる
4. マタニティサイクルにある母子とその家族を取り巻く保健・医療・福祉チームにおける看護の役割・責任について理解できる	①母性に関わる看護者の役割・責任について理解することができる ②職種との連携の重要性を理解することができる ③退院後の母子とその家族を支える社会資源について考えることができる
5. 生命の尊厳、母性や父性、親役割、家族役割について自己の考えを深めることができる	①生命誕生の過程に参加し、生命の尊厳への認識を深めることができる ②実習を通して親役割、家族役割について考えることができる

5) 実習展開 【事前学習】

各期	内容
妊娠期	①妊婦健康診査⇒定期健診の時期・健診の意義 検査内容（母子手帳の検査項目・各期の血液検査・感染症・合併症などの知識・計測・レオポルド触診法・児心音聴取・NSTの判読・妊婦の腹部超音波検査判読など） ②妊娠中の母体と胎児の健康状態のアセスメント、妊娠期の感染症、マイナートラブル ③産前教育⇒母親教室・意義・各期の内容
分娩期	①分娩各期（Ⅰ期～Ⅳ期）の看護 ※ 自己の目標を明確にしておくこと 産婦・胎児の健康状態の観察と情報収集、観察技術 分娩進行を促す援助や産痛緩和の援助・NSTの判読・LDRについて ②胎盤計測⇒胎児付属物についての知識
産褥期	①正常産褥期の生理的な経過と心理的・社会的特徴 ②褥婦の看護に必要な看護診断、観察技術、ケア技術 ③保健指導（授乳指導・乳房の手入れ、乳頭乳輪マッサージ、産褥体操指導・栄養指導・沐浴指導などの育児指導）について ④正常褥婦、新生児のスタンダード看護計画（※3年次の母性看護学方法論Ⅱの課題で作成した看護計画立案を臨地実習で活用できるよう準備しておく）
新生児期	①出生直後の看護（ルーチンケア・出生直後の新生児の評価） ②新生児看護に必要な知識・技術・検査・処置 ③早期新生児期の生理的変化
全体看護過程	①母性看護学方法論Ⅱの授業で事例に基づくデータベース、情報の整理・解釈による理解 ②母性看護学方法論Ⅱの授業で作成したウェルネス看護診断の理解 ③個別性をふまえた看護計画立案の必要性 ④個別性をふまえた看護計画から導いた看護介入

【事前学習の提出について】 学内実習初日、開始時間に提出

①母性看護学実習事前学習 冊子1部

②妊娠期・分娩期・産褥期に必要な感染症、検査や処置、看護技術についてまとめる。 枚数制限なし

※インターネットの情報などは丸写ししない・引用文献、参考文献、参考HPは必ず記載すること

③ウェルネス看護診断に基づく看護計画（産褥期・新生児期）の基本型をWordで作成する。

※母性看護学方法論Ⅱで提出したものを準備しておくこと

〔事前学習〕

1. 事前学習項目

1) 妊娠期

① 妊娠期のケアに必要な技術が理解できる。

- ・ 妊娠期の感染症（Hbs 抗原、HCV 抗体検査、TPHA、HTLV—1、風疹抗体価、クラミジア、トラコマチス、トキソプラズマ、GBS（B 群溶血性レンサ球菌））、HIV

2) 分娩期の看護

① 正常な分娩の経過と分娩期の異常

- ・ 分娩経過（1 期、2 期、3 期、4 期）と進行と看護（産婦の身体的・心理的・社会的変化）について

② 分娩期の健康問題に対する看護

- ・ 帝王切開分娩と看護（起こりうる経過異常、起こりうる術後合併症）

③ 出生直後の新生児の看護

④ 胎盤計測（胎児付属物）についてまとめる

- ・ 胎盤の構造、臍帯の構造、計測時の観察項目と根拠をまとめる

3) 産褥期の看護

⑤ 母乳育児と栄養法について理解できる＊（看護科と合わせる）

- ・ 退行性変化、進行性変化を促す看護
- ・ 正しいポジショニング、ラッチ・オン、児の排気法、調乳法
- ・ 母乳育児の状況（授乳技術と支援、退院後の乳房管理）

⑥ 施設退院後の支援について理解できる

- ・ 育児支援について理解できる（育児の支援者、社会資源など）
- ・ 産褥期の褥婦の心理的变化についてまとめる

※特に、マタニティブルー、産後うつ病についてまとめる

※エジンバラ産後うつ病自己評価表についてまとめる

4) 早期新生児期の看護

① 分娩外傷の頭部軟部組織の損傷の看護について理解できる（頭部外傷 3 項目）

- ・ 新生児マススクリーニング・拡大マススクリーニング

＜提出方法＞

1) 書式：Word の場合、A4 判白紙（感熱紙不可）もしくは、手書きの場合は A4 ルーズリーフ

2) 参考文献は必ず末尾に記載すること。

3) 提出日は学内実習初日 9：20 時間厳守

4) 提出物：①母性看護学事前学習 冊子 1 部、上記の自己でまとめた事前レポート学習

2. 注意事項

1) 事前学習は正しい専門用語を使い、実習に行って自己の理解を深められるようまとめましょう。

2) 基本的に、教科書、副読本、授業プリントを参考にまとめましょう。

6) 臨地実習・学内実習（実習全体のスケジュール）

	実習内容	カンファレンス	学習課題
1 日目	学内実習 1：実習前 OSCE 母性看護学方法論 産褥・新生児カレンダーの作成	一日の振り返り（講義を通して自己の課題の明確化）	事前学習、実習計画表、実習要項
2 日目	学内実習 2：実習前 OSCE 母性看護技術演習（新生児の観察技術、沐浴）、新生児バイタルサイン測定、全身状態観察、沐浴技術試験、知識確認テスト	一日の振り返り（OSCEを通して自己の課題の明確化、翌日の学内実習に向けて自己の目標を明確化）	事前学習、実習計画表 「産褥カレンダー」・「新生児カレンダー」 母性 5－項目別実習
3 日目	学内実習 3：実習前 OSCE 母性看護技術演習（褥婦の観察技術、授乳援助）、退行性変化と進行性変化、全身状態の観察、（妊娠期・分娩期の看護）レオポルド触診法、NST 装着と判読、知識確認テスト	一日の振り返り（OSCEを通して自己の課題の明確化、臨地実習に向けて自己の目標を明確化）	事前学習、実習計画表 「産褥カレンダー」・「新生児カレンダー」 母性 5－項目別実習
4 日目	病棟オリエンテーション 受け持ち母子の決定 （褥婦・新生児）→情報収集、整理 母子のスケジュールに沿った援助 見学	テーマ： 「オリエンテーション・ 情報収集を通して学んだこと」等	実習計画表 母性 1－データベース 母性 2－情報の整理・解釈 母性 3－看護計画 母性 5－項目別実習
5 日目	母子のスケジュールに沿った援助 見学・実施	テーマ： 「褥婦の援助の方向性・ ウェルネス看護診断に 基づく看護計画」	実習計画表 母性 1－データベース追加 母性 2～7 追加・修正 母性 4-①実施記録（褥婦） 母性 4-②実施記録（新生児） 母性 9
6 日目	受け持ち母子に必要な援助の実施	中間カンファレンス 「前半の実習のふりか えり」	実習計画表 母性 4-①実施記録（褥婦） 母性 4-②実施記録（新生児） 母性 9
7 日目	受け持ち母子に必要な援助の実施		実習計画表 母性 4-①実施記録（褥婦） 母性 4-②実施記録（新生児） 母性 9
8 日目	受け持ち母子の決定（2 事例目）→ 情報収集受け持ち褥婦・新生児の スケジュールに沿った援助の見 学・実施	テーマ： 「新生児に起こりやす い事故と対策」	実習計画表 母性 1－データベース 母性 2～10
9 日目	受け持ち褥婦・新生児のスケ ジュールに沿った援助の見学・実 施 または外来実習、分娩見学、保健 指導の見学	テーマ： 「新生児の援助の方向 性・ウェルネス看護診 断について」	実習計画表 母性 1－データベース追加 母性 2～7 追加・修正 母性 8－実施記録 母性 9・10 安全に関する体験報告書

10 日目	受け持ち母子に必要な援助の実施 または外来実習、分娩見学、保健 指導の見学など	テーマ： 「受け持ち母子、または 母性看護の対象に必要な 社会資源について」	実習計画表 母性 8－実施記録 母性 9・10
11 日目	受け持ち母子に必要な援助の実施 または外来実習、分娩見学、保健 指導の見学など		実習計画表 母性 8－実施記録 母性 9・10 カンファレンス資料
12 日目	受け持ち新生児に必要な援助の実 施 実習のまとめ	最終カンファレンス 「受け持ち母子のサマ リーと 9 日間の臨地実 習のまとめ」	実習計画表 母性 8－実施記録 母性 9・10 母性 11－実習のまとめ

* 分娩があれば、分娩見学を優先する。可能なら入院の受け入れから分娩→産褥→退院まで受け持つ

* 外来実習は半日とし、妊婦健康診査の見学・母親教室見学などを行う

* 受け持ち母子の看護の実践は、1 事例は必ず実施する。状況により可能であれば 2 事例目を受け持ち
する

学内実習の目的

- ① 妊娠・分娩・産褥期および新生児の生理的な経過を理解し、ウェルネス志向に基づいて、妊婦・産婦・褥婦および新生児を対象として母性看護の特徴を理解した看護を実践し、評価することが学習の到達となる。対象である母子とその家族に基礎的な援助を提供し、評価・課題を明確化するために学内実習を行う。
- ② 母性看護におけるリプロダクティブヘルス／ライツの視点から女性の健康を理解し、生涯を通じた健康促進への支援について考察する力を養う。

◆学内実習 1：実習目標

- ① 実習に必要な基礎知識（事前学習内容）が理解できる。
- ② 産褥期の身体的変化・心理的变化・社会的変化と新生児の胎外生活適応過程を理解することができる。
- ③ 実習に対する学習課題や心構え、意欲を明確にすることができる。

時間	学習内容とタイムスケジュール	必要物品、記録用紙など
1 コマ目 9:20～9:30	出席・体調確認、事前学習提出、実習目標確認	事前学習、出席表、体調管理表、実習計画表
9:30～10:50	1. 学内実習オリエンテーション 学内実習3日間のスケジュール、目的、到達目標の確認	実習要項
10:50～11:00	休憩（10分）	
2 コマ目 11:00～12:30	母性看護学方法論 各自で「産褥カレンダー」・「新生児カレンダー」を作成する。	事前学習、テキスト、参考書 「産褥カレンダー」「新生児カレンダー」用紙 ※当日担当教員が配布
12:30～13:20	昼休憩（50分）	
3 コマ目 13:20～14:00	作成した「産褥カレンダー」・「新生児カレンダー」を発表 ※臨地実習で使えるように加筆・修正する。	「産褥カレンダー」「新生児カレンダー」
14:00～14:30	カンファレンス（一日の振り返り）	

◆学内実習 2：実習目標

- ① 実習に必要な基礎知識（事前学習内容）の確認、看護技術の習得ができる。
- ② 実習に対する学習課題や心構え、意欲を明確にすることができる。

時間	学習内容とタイムスケジュール	必要物品、記録用紙など
1 コマ目 9：20～9：30	※ユニフォームに着替え演習室に集合 時間厳守 出席・体調確認、事前学習提出、実習目標確認	※「産褥カレンダー」「新生児カレンダー」の提出 事前学習、出席表、体調管理表、実習計画表、実習要項
9：30～10：50	【新生児モデル人形を使って技術演習・技術練習】 バイタルサイン測定、全身状態の観察、沐浴 → 実施者、補助者とペアになり練習する。 新生児 バイタルサイン測定法・全身状態の観察、おむつ交換、衣服の着脱、沐浴技術練習	新生児観察技術評価表 全身状態チェックリスト ※当日担当教員が配布
10：50～11：00	休憩（10分）	
2 コマ目 11：00～12：30	実習前 OSCE 11：00～沐浴技術試験オリエンテーション 11：10～沐浴技術試験実施 沐浴技術試験、全身状態の観察の振り返り 教員からのコメント ※沐浴実施の準備や片付けはグループで協力して行う	沐浴評価表 ※当日担当教員が配布
12：30～13：20	昼休憩（50分）	
3 コマ目 13：20～14：00	知識確認テスト① 解答・解説	実習前知識確認テスト
14：00～14：30	カンファレンス（一日の振り返り）	

◆学内実習 3：実習目標

- ① 母性看護に必要な看護技術を理解することができる。
- ② 実習施設の特徴や概要を理解することができる。
- ③ 臨地実習に向けて自己の課題を明確にする。

時間	学習内容とタイムスケジュール	必要物品、記録用紙など
1 コマ目 9:20～9:30 9:30～10:50	※ <u>ユニフォームに着替え演習室に集合 時間厳守</u> 出席・体調確認、事前学習提出、実習目標確認 【母性看護技術演習】産褥期 子宮復古の触診法、問診、乳房の観察、乳頭、乳輪マッサージ法など、授乳の援助（ポジショニング、ラッチ・オン） 産褥期 子宮復古の観察法・乳房マッサージ法など 妊娠期 レオポルド触診法、児心音聴取方法、子宮底の測定・腹囲測定、NST 装着と判読など 分娩期 安楽な体位と分娩進行を促す援助・産痛緩和の援助呼吸法、マッサージ、圧迫法、温罨法など	実習計画表、実習要項、出席表、体調管理表、事前学習、 「産褥カレンダー」、「新生児カレンダー」 母性 5 ※項目別記録に演習したことを記録する
10:50～11:00	休憩（10分）	
2 コマ目 11:00～12:30	実習前 OSCE 事例に基づく産褥期の看護	事前学習、「産褥カレンダー」、「新生児カレンダー」など
12:30～13:20	昼休憩（50分）	
3 コマ目 13:20～14:00 14:00～14:30	1. 施設オリエンテーション・実習前オリエンテーション 看護過程の展開・記録用紙の説明 2. カンファレンス（一日の振り返り、翌日の目標）	施設レジュメ（※各自で準備） 実習記録用紙一式

※学内実習は時間厳守すること。

※学内実習のタイムスケジュールは変更することがある

※演習の準備、片付けはグループで協力して行う

7) カンファレンス

- ① カンファレンステーマは学生が主体的に決定する（実習展開表に推奨テーマ記載）
- ② カンファレンスレジュメは当日朝に実習指導者、および教員に提出する
- ③ 病棟実習 5 日目に中間カンファレンス、病棟実習 9 日目に最終カンファレンスでまとめをする
- ④ 学内実習においても、同様に一日の振り返りのミニカンファレンスを行う

8) 実習記録

記録用紙	枚数	備考
母性看護学実習評価表	1 枚	
安全に関する体験報告書	1 枚	
実習計画表	3 枚	
母性 1 データベース	2 枚	
母性 2 情報の整理・解釈 (A4 サイズ)	1 枚	
母性 3 看護計画	5 枚	PC 使用可
母性 4 - ① 実施記録 (褥婦)	5 枚	
母性 4 - ② 実施記録 (新生児)	5 枚	
母性 5 項目別実習記録	5 枚	
母性 6 外来実習記録	1 枚	
母性 7 分娩見学記録	1 枚	
母性 8 中間カンファレンス	1 枚	PC 使用可
母性 9 最終カンファレンス	1 枚	PC 使用可
母性 10 受け持ち母子のサマリー (看護要約)	1 枚	PC 使用可
体調管理シート	1 枚	

※記録用紙の追加は配布しないため、各自でコピーをすること

※記録に Word を使用する際は、個人情報のデータ管理に厳重に注意すること

9) 実習記録の提出について

- ①実習記録は、実習最終日の 16 時までに提出すること。
- ②実習記録は、毎朝ファイルにはさんで教員に提出する。*** 赤字記載は速やかに青字で加筆修正をすること**
- ③実習最終日に、インデックスをつけて、記録用紙の順番にとじる。最後に事前学習を一式とじる。
- ④安全に関する体験報告書、実習評価は、とじ穴はあけずインデックスをつけずに直接教員に提出する。

10) 実習評価について

- ①自己評価は、学生自身が行う。自己評価は、中間・最終評価ともにボールペンで記載すること。
- ②他者評価は、実習指導者と協議のうえ、教員が記載する。

母性看護学実習 実習評価表

学籍番号		学生氏名		実習施設・病棟			
実習期間	年	月	日	～	月	日	欠席時間数 時間 分
評 価 項 目				自己評価		最終 他者評価	
				中間	最終		
1) マタニティサイクルにある母子とその家族の特性を理解し健康状態をアセスメントすることができる	①	対象の妊娠・分娩経過を述べることができる					
	②	妊娠・分娩が褥婦に及ぼす影響について述べることができる					
	③	褥婦の生理的変化を述べることができる					
	④	褥婦の心理的変化の特徴を述べることができる					
	⑤	新生児の生理的変化を述べることができる					
	⑥	褥婦の経過をウェルネスの視点でアセスメントすることができる					
	⑦	新生児の経過をウェルネスでアセスメントすることができる					
2) マタニティサイクルにある母子とその家族に必要な看護援助を考えることができる	①	母子の援助に必要な情報を収集・整理・分類することができる					
	②	母子に必要な看護援助を理解することができる					
	③	母子の経過やその家族の生活に応じた保健指導の意義・方法が分かる					
3) マタニティサイクルの母子とその家族に必要な看護援助が理解でき一部実施できる	①	母子の経過を一体として捉えることができる					
	②	母子の生理的な経過を理解し、基本的な援助が実施できる					
	③	新生児の安全に配慮して関わるることができる					
	④	褥婦やその家族にプライバシーの保持・羞恥心への配慮ができる					
	⑤	対象に応じた保健指導の意義・方法が分かる					
4) マタニティサイクルの母子とその家族を取り巻く保健・医療・福祉チームにおける看護の役割・責任について理解できる	①	母性に関わる看護者の役割・責任について理解することができる					
	②	多職種との連携の重要性を理解することができる					
	③	退院後の母子とその家族を支える社会資源について考えることができる					
5) 生命の尊厳、母性や父性、親役割、家族役割について自己の考えを深めることができる	①	生命誕生の過程に参加し、生命の尊厳への認識を深めることができる					
	②	実習を通して母性および父性、親役割について考察することができる					
実習態度	①	事前学習ができる					
	②	指定された期限内に記録できる					
	③	疑問点について質問や自己学習ができる					
	④	助言を受け止め、自己の意見も述べることができる					
	⑤	グループ内で役割を果たし協調できる					
	⑥	時間を守ることができる					
	⑦	身だしなみを整えることができる					
	⑧	適切な言葉使いができる					
	⑨	医療従事者との良好な人間関係の構築に向けて努力できる					
	⑩	患者の個人情報を保護できる					
《コメント》							
実習指導者：				印	担当教員：	印 総合評価	

※評価基準 ◎：優れてできる ○：できる △：不十分さを残すことができる ×：できない

項目	情報・整理	アセスメント	アセスメントの結果	情報・整理	アセスメント	アセスメントの結果
妊娠経過	母体の状態			新生児の状態・健康状態 先天奇形、分娩外傷 身体機能の活動状況		
	胎児の状態 心理状態					
生後経過の振り返り・全身状態	生殖器の復古状態、バイタルサイン			生理的変化 健康状態・成長発達 発育状態		
	生殖器の復古に影響する因子			栄養状態		
	セルフケア行動			養護・生活環境・家族関係 適切な養護 生活環境		
乳房の状態・授乳	母乳栄養への意欲			産後の心理、自己概念		
	乳房、乳頭の形態			母親としての役割行動		
	乳汁分泌			母親役割獲得過程・家族関係 産後の心理・役割取得に影響する因子		
	児の状態					
	授乳状況、児の状態			家族関係		
	セルフケア行動			生活、社会環境、社会資源		

施設管理

学生氏名									
《 分娩期基本情報 》									
◆分娩予定日： 年 月 日									
◆在胎週数 妊娠 週 日									
陣痛発来 時 分									
産後 時 分									
破水（自然・人工） 月 日 時 分									
子宮口全開 月 日 時 分									
胎児娩出（男児・女児） 月 日 時 分									
胎盤娩出（様式） 月 日 時 分									
分娩第Ⅰ期 時間									
分娩第Ⅱ期 時間									
分娩第Ⅲ期 時間									
合計 時間									
◆分娩様式・医療介入の有無									
◆会陰裂傷：有・無（度）会陰切開：有・無 縫合：有・無									
◆分娩直後～第4期の母体の状態									
出血量 1 時間値 2 時間値									
子宮底									
子宮収縮									
VS									
◆立会い分娩の有・無（出生直後の新生児の状況）									
出生時体重： g 性別：男・女									
身長： cm 頭位： cm 胸囲： cm									
アプガースコア：1 分後 点 / 5 分後 点									
外表面形：有・無（頭血腫：有・無）									
産婦：有・無（骨重負：有・無）									
大腸門：平坦・陥没・膨隆 停留臍丸：有・無（点眼：済 未 排便：有・無 排尿：有・無）									
臍帯血：有・無 早期母子接触：有・無									
◆出生後の新生児の経過									
1 時間値 2 時間値 6 時間値									
体温									
呼吸									
循環									
SpO2									
◆胎児の所見									
胎児実質 欠損：有・無 石灰沈着・白色硬変									
臍帯 長さ： cm 臍帯巻絡：有・無									
卵膜 欠損：有・無									
羊水 色：無色・白濁・透明 羊水混濁：有・無									
◆成熟徴候の有無									
皮膚（ ） 爪（ ）									
毛（ ） 耳介（ ）									
胎脂（ ） 面皴（ ）									
◆原始反射									
《 今回の妊娠経過 》									
・定期受診の有無：									
・産前教育受講：無・有（ ）									
・胎児の発育									
週 日：BPD mm/FL mm/EFBW g									
週 日：BPD mm/FL mm/EFBW g									
週 日：BPD mm/FL mm/EFBW g									
その他：									
サ産後 1 週間 胎児の状態									
Hbs 抗原									
Hbs 抗体									
Hbe 抗原									
Hbe 抗体									
HCV 抗体									
HTLV 抗体									
貧血の有無									
その他：									

母性3－看護計画

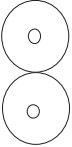
学生氏名：

看護診断		看護成果
産褥/出生後	看護成果(期待する結果)	
看護介入		相掘
OP/TP/EPに分けて行動を書く		

母性4－①実施記録(褥婦) 【産褥 日目】

月 日() 学生氏名：

看護目標：

O情報		S情報	A(アセスメント)	P(追加・修正)
体温				
脈拍				
呼吸				
血圧				
子宮底				
子宮収縮				
悪露(色・量)				
後陣痛				
会陰縫合部痛				
乳房タイプ				
乳房緊満				
乳管開口数				
乳汁分泌				
性状				
乳頭トラブル				
授乳の状況				
睡眠・活動				
清潔				
食事				
水分				
排泄(便・尿)				
浮腫				
心理面				
その他				
保健指導 他				
新生児の様子				

看護目標：

学生氏名：

学生氏名：

項目	O情報	A(アセスメント)	P(追加、修正)
体温			
心拍			
心雑音			
呼吸数			
呼吸の型			
呼吸音			
黄疸値			
黄疸			
体重減少率			
体重			
意識レベル			
頭部			
顔面			
胸腹部			
背部			
四肢			
外陰部			
臍部			
その他			
原始反射など			
排泄	尿		
排便	便		
栄養の種類			
時			
時			
時			
時			
時			
時			
時			
時			
時			
合計			
検査・処置			
保健指導ケア他			
褥瘡(家族)の様子			

項目	体験したこと、見学したこと、技術など	学んだこと、自己の課題
目的		
指導者・教員の助言		

母性6―外来実習(妊婦健康診査)記録用紙

学生氏名:

見学した対象妊婦:
1例目:初産・経産(回目)妊娠週日()才
2例目:初産・経産(回目)妊娠週日()才
3例目:初産・経産(回目)妊娠週日()才

1. 診察や検査の内容について見学または実施したこと
問診 尿検査(蛋白・糖) 浮腫の有無、部位の観察
母体計測: 体重(非妊娠時からの増加) 前回の増加 レオボルド触達法 腰痛・子宮底測定
内診介助または見学 子宮緊満の観察 胎動の観察 胎児心拍の聴取 超音波所見:BPD・FL・APTD・EFWの測定 胎盤の位置異常の有・無 母子健康手帳の記入
2. 妊婦の情報(計測、検査結果など)
3. 妊婦の様子(マイナートラブルの有無・妊娠、分娩、育児に対する受け止め方・現在、不安に思っていること等)S情報など
4. 妊婦健康診査(診察や検査)の結果から考えられること(アセスメント)
5. 見学した保健指導(指導内容と必要性、医師からの説明及び指導内容、妊婦の反応)
6. 妊婦の健康診査、保健指導を見学して学んだこと・感想
7. 診察時の看護を見学して学んだこと・考えたこと

母性7―分娩見学記録

学生氏名:

産婦: 歳 初産婦・経産婦(回目)
既往歴:
血液型: 型 RH()
感染症: HTLV-1()梅毒()HB()HCV()
HIV()風疹抗体()GBS()カプア()
その他:

妊婦週数: 週 日 早期産・正常産・過期産
《分娩状況》
破水: 前破水・早期破水・適時破水
分娩所要時間
第1期: 時間 分
第2期: 時間 分
第3期: 時間 分
合計 時間 分
《分娩直後》
血圧 / mmHg 脈拍 回/分
体温 ℃ 呼吸 回/分
子宮底の高さ() 硬度(良・やや良・不良)
後陣痛(有・無)
臍部膨張(有・無)
排尿(自然・導尿 ml)

《分娩時処置》
点滴・使用薬剤・産科的手術 等
1時間値 ml
2時間値 ml
合計 ml
分娩時出血 ml
その他:

《胎盤計測》
胎盤娩出様式 () 形状(円・楕円形)
大きさ() × () cm
厚さ() cm 重量() g 欠損(無・有)
石灰沈着(無・有) 白色梗塞(無・有) 副胎盤(無・有)
臍帯: 長さ() cm 太さ() cm × () cm
付着(中央・側方・辺縁・臍)
捻転(右・左) 結節(無・有・偽)
臍絡(無・有)
血管: 臍静脈 本・臍動脈 本()
卵膜強さ() 欠損(無・有)
羊水: 量(多・中・小) 混濁(無・有)

《新生児所見》: 性別(男・女)
アプガースコア: 1分後()点 5分後()点
計測: 身長 cm、体重 g、
頭囲 cm、胸囲 cm
所見: 産瘤(無・有)
頭血腫(無・有)
外表奇形(無・有)
排尿(無・有) 胎便排泄(無・有)
胎脂()に(多・中・小)
処置: 点眼(未・済)
臍生処置(無・有→内容)
臍帯血 pH ()

《アセスメント》
◆分娩経過に異常はないか。産婦、児の出生状態はどうか。

【分娩見学体験からの感想】

母性8－中間カンファレンス

学生氏名:

前半の実習の振り返り 【事例紹介・ウエルネス看護診断および看護目標】 【看護介入の実際】	今後の課題（知識・技術（看護実践力）・態度など）
--	---------------------------------

母性9－最終カンファレンス

学生氏名:

9日間の実習の振り返り	今後の課題（知識・技術（看護実践力）・態度など）
--------------------	---------------------------------

学生氏名:

看護目標 褥婦： 新生児：	実施した援助と結果および評価 褥婦：実施内容（SOAPで記載する）	新生児：実施内容（OAPで記載する）
------------------------------	--	---------------------------